

日本植物形態学会評議員会議事録（案）

平成 27 年 9 月 5 日 12:00-13:15、新潟市 朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター中会議室 201B にて

会長（野口）、庶務幹事（酒井）、会計幹事（林）、編集委員長（唐原）、編集委員（稻田、宮沢）、広報委員長（高野）、会計監査（松永）、評議員（今市、河野、酒井、鮫島、塚谷、永田、野崎、峰雪）欠席：田中、Ferjani

議題：

1. 報告事項

（1）会長報告（野口）：野口会長より、挨拶と日本植物形態学会設立 25 周年記念出版 *Atlas of Plant Cell Structure* の内容、販売状況等に関する報告があった。

（2）庶務報告（酒井）：会員数の変動、および前年度の活動状況（平成 26 年度大会（生田）の開催状況を含む）について報告があり、了承された。

（3）会計報告（平成 26 年度決算）（林／松永）：平成 26 年度決算及び会計監査について報告があり、了承された。

（4）編集委員会報告（唐原）：Plant Morphology の発刊状況と J-Stage 版公開状況について報告があり、了承された。また、原稿の締め切りを前倒しすることが提案された。

（5）広報委員会報告（高野）：学会ホームページ等を用いた情報発信の状況について報告があり、了承された。

（6）平成 27 年度大会（新潟）について（酒井）：平成 27 年度大会（平成 27 年 9 月 5 日、新潟県新潟市の朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンターにて開催）の概要について報告があり、了承された。

（7）3 賞選考結果について（今市）：選考委員会（専攻委員長《今市》、委員《河野、永田、峰雪》、編集委員長《唐原》、オブザーバー《野口》）による 3 賞選考の過程と選考結果について報告があった。学会賞は中村宗一氏、奨励賞は該当なし。平瀬賞は高橋紀之氏、丸山大輔氏をそれぞれ代表とする 2 編。選考委員長の選出規程及び平瀬賞の性格についての問題提起があり、審議することとなった。

（8）その他：特になし

2. 審議事項

（1）平成 27 年度事業計画案について（酒井）：平成 27 年度事業計画（案、ただし 9 月上旬までは実績）について検討を行い、原案を了承した。

（2）平成 27 年度予算案について（林）：平成 27 年度予算（案）について検討を行い、原案を了承した。

（3）平成 26 年度 3 賞選考委員会からの要望について（河野／今市／酒井）：3 賞選考委員会より、選考委員長の選出の規定を下記の通り変更する提案が出され、審議の結果これを了承した。

旧：選考委員長の選出：選考委員長は選考委員の互選により選出する。

新：選考委員長の選出：選考委員長は選考委員の互選により選出する。ただし、2期連続して選考委員長を務めることはできない。

また、特に平瀬賞について学会への貢献度をどのように判断すべきが議論し、選考内規を整備することが必要、との意見が出された。これに関連して、論文の著者全員が代表受賞者による受賞を同意していることを確認する必要性についても意見が出された。議論の結果、賞の性格や選考内規の整備については、引き続き検討していくこととなった。

(4) その他：

(i) 次期執行部の検討課題として、生物科学学会連合の定例会議への出席を担当する、東京在住の役員を選出しておくことが望ましいこと、大会準備委員を独立させ、庶務幹事は会長とともに学会の中長期的な事業運営に専念させることが望ましい、との意見が出され、了承された。

(ii) 学会長による委員選任の自由度を高めるため、「日本植物形態学会広報委員会に関する申し送り事項」（2011年9月16日評議員会決定）のうち、下記の2項について撤廃することが提案され、了承された。

1. 編集委員兼務広報委員を1期2年間務めた者が、次の1期2年間広報委員長を務めるのを目安とする（広報委員会業務の専門性・継続性の観点）。

2. 編集委員兼務広報委員の人選は編集委員長が行うが、その際、広報委員長の意見を参考にするのが望ましい。

併せて、繰越金を利用した学会HPのリニューアルを検討することが提案された。

(5) 総会議長候補として、鮫島評議員を選出した。

以上

・日本植物形態学会第 27 回総会記録（案）

平成 27 年 9 月 5 日 13:30～14:15、新潟市 朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター中会議室 201B にて

1. 大会長挨拶（林）：林大会長より挨拶があった。

2. 会長挨拶（野口）：野口会長より挨拶があった。

3. 総会議長選出（酒井）：総会議長として、評議員会推薦の鮫島会員を選出した。以後の議事進行は選出された議長による。

4. 報告事項

（1）会長報告（野口）：日本植物形態学会設立 25 周年記念出版 *Atlas of Plant Cell Structure* の内容、および発行後の状況を中心に、学会の状況について報告があった。

（2）庶務報告（酒井）：平成 26 年度の活動状況（平成 26 年度大会（生田）の開催状況を含む）について報告があり、了承された。

（3）編集委員会報告（*Plant Morphology* の発刊状況）（唐原／酒井）：*Plant Morphology* の発刊状況と J-Stage 版公開状況についての説明があり、了承された。

（4）広報委員会報告（高野）：学会ホームページ等を用いた情報発信の状況について報告があり、了承された。

（5）会計報告（平成 26 年度決算）（林・松永）：平成 26 年度決算及び会計監査について報告があり、了承された。

（6）3 賞選考結果について（今市）：選考委員会（専攻委員長《今市》、委員《河野、永田、峰雪》、編集委員長《唐原》、オブザーバー《野口》）による 3 賞選考の過程と選考結果について報告があった。学会賞は中村宗一氏、奨励賞は該当なし。平瀬賞は高橋紀之氏、丸山大輔氏をそれぞれ代表とする 2 編の論文に、それぞれ贈られることとなったことが報告された。

（7）平成 27 年度大会（新潟）について（酒井）：平成 27 年度大会（平成 27 年 9 月 5 日、新潟県新潟市の朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンターにて開催中）の概要について報告があった。また、日本植物学会で開催される共催シンポジウムへの参加のよびかけがあった。

（8）その他：特になし

5. 審議事項

（1）平成 27 年度事業計画案について（酒井）：資料に基づいて平成 27 年度事業計画（案、ただし 9 月上旬までは実績）が説明され、了承された。

（2）平成 27 年度予算案について（林）：資料に基づいて平成 27 年度予算（案）が説明され、了承された。

（3）その他：3 賞募公募の規定変更について（酒井）：選考委員長の選出、賞の選考に関する内規の再検討を評議員会で進める方針であることが報告され、了承された。

以上をもって総会を終了し、引き続き 3 賞の授賞式および受賞記念講演（学会賞、奨励賞、平瀬賞）を

行った。

6. 授賞式：3賞受賞者（下記）に対し、野口会長から賞状と記念の盾が授与された。

「学会賞」：	中村 宗一 氏	(琉球大・理・海洋自然科学)
「平瀬賞」：	高橋 紀之 氏	(東京大・院・理・生物科学)
「平瀬賞」：	丸山 大輔 氏	(名大・高等研究院)

・受賞記念講演会（14:30～）

平瀬賞：「始原の一次植物の微細構造による真の理解を目指して」
高橋 紀之 (東京大・院・理・生物科学) 14:30-14:50

平瀬賞：「細胞融合による迅速な助細胞排除」
丸山 大輔 (名大・高等研究院) 14:30-14:50

学会賞：「クラミドモナスにおけるミトコンドリアの父性遺伝、及びオルガネラの形態変化」
中村 宗一 (琉球大・理・海洋自然科学) 15:20-16:00

講演会終了後は、ポスター会場（メインホール）に移動しポスター発表を行った。ポスター会場では一般会員の投票により、ポスター賞1件（「顕微鏡画像データ提示における3Dプリンタの活用」、小笠原希美、比留川治子、桧垣匠、秋田佳恵、馳澤盛一郎、東山哲也）を選び、表彰を行った。